

一般社団法人

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO. 39 2012年7月29日

目 次

会長から 1	臨床こぼれ話 9
総会の報告 2	ひとくちコラム 10
都道府県士会協議会報告 4	各委員会・作業部会から 11
学術局から 5	お知らせ、事務局から 12
施設紹介 8	理事会等報告 14

会長から

*** 一般社団法人としての新しい一年を迎えて ***

会長 吉田浩滋

私は、かつてドングリの実を植木鉢で発芽させて育てることを趣味にしておりました。ドングリは埋めずとも、土の上に寝かせておけば根を下方に伸ばして双葉を上に出し、どんどん大きくなり、木としての体裁を整えますが、あるところまでくると木は成長を止めてしまいます。これは、植木鉢の大きさが関係しているのです。ドングリは植木鉢の大きさ以上に根を張ることができないので、植木鉢の大きさに応じた木のサイズで成長を止めてしまうのです。無理に大きくなってもいいのかもしれませんが、大きさに見合う水分や養分を得ることができず、木は枯れることになってしまいます。

成長を開始させたいのであれば、植木鉢を大きなものに変えるのです。するとどうでしょう、ドングリの木は成長を開始し、伸び始めるのです。これはドングリだけのことではなく植物全般に言えることです。

今回、私たちの千葉県言語聴覚士会（以下、県士会）は、みなさまからの承認の元、一般社団法人となりました。つまりこれは県士会という木の立つところが植木鉢から大地に変わり、県士会が今まで以上に伸びるチャンスを得たことになると思います。

今まで、県士会という木は先達たちによって発芽させてもらい、植木鉢の中で、すくすくと伸びてきました。

しかしこれからは、広い大地に思う存分根を張り、光を求めて更に大きく成長していくことができる

のです。先に移植された他の職能団体とともに、言語聴覚士の社会的地位の確立に努め、地域社会における保健・医療・福祉・教育の発展と充実に寄与するための林を形成していくことができるのです。

県内には小児から成人・高齢者に関わらず、言語聴覚士と出会うことを希望される多くの障害児・者がいます。医療のみならず、保健、福祉、教育すべての分野で多くの人々が言語聴覚士からの支援を待っているのです。しかし、県内の言語聴覚士の数は十分とはいえず、その養成も県内ではなされていない状況です。今後、県士会は一般社団法人化を機に、このような状況のもと、それぞれが自らの力を磨き、私たちが担う社会的責任を果たすために何ができるのか、何を行わねばならないのかということを熟議し、結論をださねばならないと考えております。県士会は県民の安心を支えるための組織であり続けるために、これからも会員皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。

第12回千葉県言語聴覚士会総会および

第1回一般社団法人千葉県言語聴覚士会総会の報告

去る5月20日(日)に開催された第12回千葉県言語聴覚士会総会及び第1回一般社団法人千葉県言語聴覚士会総会は、千葉県言語聴覚士会の更なる発展を目指し、保健・医療・福祉・教育の増進に寄与することを目的に、会員、財産、事業のすべてを一般社団法人千葉県言語聴覚士会が継承することとなり、新たな一步を踏み出す記念すべき会となりました。

会員の皆様のご協力により、議事を円滑に進めることができましたことを感謝いたしますとともに、両総会の概要をご報告いたします。

第12回千葉県言語聴覚士会総会

日時：平成24年5月20日(日曜日) 12時30分～13時06分

場所：東京女子医大八千代医療センター 外来棟4階大会議室

議長：宇野園子(流山中央病院)

副議長：那須道子(八千代市ことばと発達の相談室)

書記：飯村智子(松戸神経内科) 宮阪美穂(八千代リハビリテーション病院)

会員数及び出席者数：会員数345名 出席者192名(当日参加27名、議長委任165名)

・報告事項

- 1.平成23年度活動報告
- 2.平成23年度決算報告
- 3.平成23年度監査報告

・協議事項

- 1.第1号議事 一般社団法人千葉県言語聴覚士会への移行に関する件

2. 第2号議事 平成23年度活動報告の承認に関する件

3. 第3号議事 平成23年度決算報告に関する件

以上の件が提出され、第3号議事において組織検討委員会の積立金の使途について質疑応答がなされた上で、全議案とも賛成多数により承認されました。

第1回一般社団法人千葉県言語聴覚士会総会

日時 : 平成24年5月20日(日曜日) 13時07分 ~ 13時22分

場所 : 東京女子医大八千代医療センター 外来棟4階大会議室

議長 : 宇野園子(流山中央病院)

副議長 : 那須道子(八千代市ことばと発達の相談室)

書記 : 飯村智子(松戸神経内科) 宮阪美穂(八千代リハビリテーション病院)

会員数及び出席者数 : 会員数340名 出席者192名(当日参加27名、議長委任165名)

・協議事項

1. 第1号議事 一般社団法人千葉県言語聴覚士会による継承に関する件

2. 第2号議事 一般社団法人千葉県言語聴覚士会定款案ならびに役員案、会費に関する規則案に関する件

3. 第3号議事 平成24年度活動方針案に関する件

4. 第4号議事 平成24年度予算案に関する件

以上の件が提出され、第3号議事において一般社団法人化後の組織に関する具体的な取り組みについて質疑応答を行った上で、全議案とも賛成多数により承認されました。

(総務部 宮下恵子)



平成 24 年度拡大都道府県士会協議会の報告

会長 吉田浩滋

平成 24 年 6 月 14 日(木) 福岡国際会議場において本年度第一回目となる都道府県士会協議会が開かれました。今回の協議会は、45 の県士会が協議会に登録したという事実を踏まえ、未登録の県士会を含めた拡大協議会として開催されるという特筆される協議会となるので、当初は出席と回答しておりましたが、急な仕事のため、欠席としました。そのため、今回は事前に頂いていた資料、一般社団法人日本言語聴覚士協会の公益法人化ワーキンググループから頂いた資料をもとに、今回の協議会でおおきな話題となる公益法人化について報告いたします。

公益法人化につきましては、本年 5 月 20 日、千葉県言語聴覚士会の総会の日に関内において公益法人化ワーキンググループの第一回会議が開催され、一般社団法人日本言語聴覚士協会の公益法人化の意義と代議員制の導入についての議論が始められております。

この公益法人化とは、社会的信用という点では一般社団法人よりも公益社団法人の方が格段上ですので移行すべきという声が多く、このワーキンググループは公益法人化を前提とした議論をすすめることに決しました。

また、もうひとつ、公益法人化とは別に代議員制の導入についても検討が始められましたが、これは公益法人化とは別個に検討をすすめていくことになります。

注：代議員制とは、会員一人ひとりに議決権があるのではなく、例えば会員の数の比例した数の代議員を選出し、その代議員に議決権を与え、代議員が集まった代議員会で討論、議決を行うというもので、現在の国会がその典型例です。

なお、千葉県言語聴覚士会にもワーキンググループの構成員となって欲しいという打診がありましたので、了承と伝え、会長が出席としております。

さて、このことは日本言語聴覚士協会が明確な地域戦略論を持たねば実行できるものではありません。よって、千葉県士会としても、中央と地方の役割は何か、望ましい地域戦略論とは何かという議論を行う必要がワーキンググループで行われるべきであろうと考えております。

実はこの間、日本理学療法士協会が公益法人に移行し、本年 6 月 9 日に東京で第 41 回定時総会を公益法人移行後の初めての定時総会として開催しており、出席代議員 270 名(委任状を含む)で全 8 議案を原案通り可決承認しておりますので、このような先行事例も大いに参考にすべきと思います。おそらく、その他に「協会加入県士会未加入」、「協会未加入県士会加入」等が話題にあがり、一定の整理が必要になることは必至ですので、県士会の理事会は会員の意向の把握にも十分注意を払う予定にしております。

学術局から

学術局 木下亜紀、木村知希

1. 平成24年度第2回研修会のお知らせ

例年、第2回研修会は委員会活動を発表する場となっています。今年度は、高次脳機能障害委員会、摂食嚥下障害委員会、小児言語障害委員会の三委員会が、企画・運営します。三委員会が工夫を凝らし、講演やグループワークなど、様々な形式で実施します。皆様と一緒に学ぶ場として、ご活用いただけることを願っております。会員の皆様はもちろん、会員外の方へもお誘い合わせの上、ご参加下さい。

* 日時：平成24年9月9日(日) 13:00～16:00

* 会場：東京女子医大八千代医療センター外来棟4階大会議室または小会議室

* 内容

・講演「高次脳機能障害者の就労支援」13:00～14:45 大会議室

講師：障害者職業総合センター主任研究員 田谷 勝夫 先生

・講演「栄養と摂食嚥下リハビリテーション」15:00～16:00 大会議室

講師：東京女子医大八千代医療センター 相楽 涼子 先生

・グループワーク「小児言語障害に関する評価について」

13:00～15:50 小会議室

講師：当会小児言語障害委員会

* 小児については、運営の都合上、先着20名までとします。

* 申し込み方法：詳しくは同封の申込書をご覧ください。

2. 第1回研修会報告

平成24年5月20日(日)に東京女子医大八千代医療センターで第1回研修会を開催しました。今回は、筑波大学・LD Dyslexiaセンターの宇野 彰先生をお招きしてご講演いただきました。参加者は73名(会員57名、会員外16名)でした。研修会の概要と、アンケート結果の一部をご紹介します。

研修会の概要

演題：「発達性dyslexiaにおける成人対象の検査を用いた評価から訓練」

講師：筑波大学・LD Dyslexiaセンター 宇野 彰 先生

概要：発達性読み書き障害の具体的な障害像や評価・訓練法を先生の最新の研究結果を交えてご講演いただきました。初めに学習障害の定義をご提示いただき、発達性読み書き障害は学習障害の中核であることをご教示いただきました。次に、海外の文献から当障害の定義をご紹介いただきました。続いて、英語圏、ドイツ語圏、アラビア語圏などの世界の主要な言語の出現率をご紹介いただき、言語の構造上、出現率に差があるものの、障害されている脳の局在部位が共通していることをご説明いただきました。日

本の出現率は、全体で8パーセントであり、ひらがな・カタカナ・漢字のそれぞれにおいて差が見られるそうです。また、発達性読み書き障害のお子さんが、よくしつけをされている印象を受けることは、海外の研究者らと共通しているようです。当障害の評価は、一般的検査：WISC - 知能検査、K - ABC、標準失語症検査（SLTA）、レーブン色彩マトリクス検査（RCPM）、視覚情報処理課題：視覚認知課題（Matching Familiar Figure Test：MFFT）、図形の記憶課題（Rey - Osterrieth Complex Figure Test：ROCF）

聴覚情報処理課題：復唱（実在語と非実在語）、モーラ抽出課題（3、4モーラ語でのモーラの抽出）、逆唱（3モーラ語、4モーラ語）、言語性記憶課題（Auditory - Verbal Learning Test：AVLT）などを用いるということでした。そして、全般的知能が正常であることを前提に、要素的な認知検査を実施し、読み書きの到達度（定型発達児童との比較）や、大脳局所機能障害部位を確認しながら検出していくことを、検査結果のスライドを参考にご説明いただきました。検出方法の一つとして、宇野先生が開発された「小学生の読み書きスクリーニング検査（インテルナ出版）」の改定版が今年度、発行されることもご紹介いただきました。

また訓練では、読みの練習をしっかりとしてから書く練習に移ることが基本であることをお教え頂きました。その上で、文字習得の背景となる要素的認知能力として、ひらがな・カタカナは音韻認識能力が必要であること、これらに加え 漢字音読では語彙力も必要であること、更に 漢字書字では視覚認知能力が必要であることをご講義いただきました。そしてこれらを踏まえた上で訓練プログラムを立案することが重要であることを再確認致しました。

ご講演の最後には、発達性読み書き障害の主人公が登場するコミック「ファンタジウム（杉本亜未作、モーニングKC）」が紹介され、6巻の作中には、LD Dyslexiaセンターをモデルとした療育機関を主人公が訪れる様子も紹介されていました。日頃、臨床や研究にご多用の宇野先生ですが、日常生活の中ではなかなか理解が得られ難い「発達性読み書き障害」について、広く啓発されているご様子を垣間見させて頂いたと思います。私たち言語聴覚士（以下、ST）が担当する障害は、必ずしも目に見える障害ばかりではありません。言語障害を有する方々の生活環境が少しでも快適になるよう、周囲にしっかりと啓発をしていくことも、私たちSTの役割であることを、改めてお教え頂いたように思います。当日は、コミックをフロアみなさんに回覧していただきましたが、ぜひとも、全国のSTみなさんにも読んでいただきたい作品です。今回ご紹介頂いた検査は、必ずしも小児のみに使うものではなく、成人の言語障害者に用いられるものでした。小児・成人の枠にとらわれることなく、広い視野を持って臨床を行うことの大切さを学ぶことのできる貴重な講演会となりました。

アンケート結果

研修会に参加して（回収：45名）

とても良かった：33名、普通：10名、未記入：2名

具体的に：

- ・ 以前も学習障害についての講義をお聞きしたことがありますが、今日もわかりやすい言葉で順番に説明してくださり、とても聞きやすかったです。
- ・ 評価の流れ（明日からでも使える）おさえるべきポイントが具体的でとても勉強になりました。

今後の研修会や当会の活動について、ご意見などがありましたらお書きください。

(以下の項目つき、回答を集計しました。)

形式：講演 32名、症例発表 10名、シンポジウム 11名、その他 1名

内容：失語症 14名、高次脳機能障害 21名、摂食・嚥下障害 18名、

音声・構音障害 15名、吃音 12名、言語発達障害 14名、

聴覚障害 10名、その他 2名

具体的に：

- ・STに直接関連しないが、必要な技法について(面接法、心理、制度)
- ・訓練法に関する話(言語発達障害)をたくさん聞きたいと思っている
- ・失語症の訓練方法
- ・改定されたWISC- やK-ABC などの実技・解釈について

学術局より<研修会を終えて>

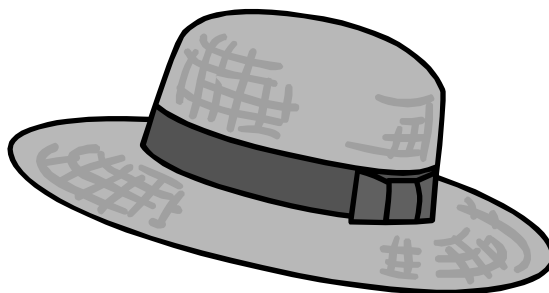
研修会後の懇親会では、新人から経験年数豊富な先生方だけでなく、STを目指している学生や養成校の先生と、多くの方にご参加いただきました。会の進行では親睦を深めるために、まず自己紹介が行なわれました。その後、宇野先生を中心に講演の内容の質問や、日々の臨床の悩み等、活発な意見交換が行われました。また会の最後には、ゲームなども催され、ふれあいのある会になりました。多くの皆様に、会員間の交流を深める機会として懇親会をご活用いただけたことを、大変嬉しく思っています。また形式を変えたアンケートでは、具体的に皆様からのご要望を伺うことができ、今後の研修会の運営に生かして参りたいと思います。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。今回の研修会と懇親会が皆様の臨床の一助になりますようお願いしております。

[研修会の症例発表者募集]

今年度の研修会での症例発表者を募集します。日頃の臨床で悩んでいる症例などがありましたら、是非ご検討ください。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。当会ホームページにお問い合わせください。

3.「地域の勉強会」での症例検討会に参加しませんか？

会員の皆様のご協力により、各地域で勉強会が開催されています。ホームページの「小児多職種合同勉強会」、「地域勉強会」をご参照の上ご参加ください。



施設紹介

流山中央病院・・・・・・・・・・・・・S T 片山 芳恵

当院は、柏市との境に近い、流山市の東部に位置し、東武野田線「初石」駅から徒歩7分のところにあります。流山市の中でも著しく開発が進む「流山おおたかの森」駅は隣駅です。昭和53年に開設し、診療科は内科、外科、脳外科、整形外科等、13科にのぼります。2次救急の指定病院でもあり、東葛地域のみならず埼玉県東部からも患者を受け入れています。病床数156床、うち40床は回復期リハビリテーション病棟です。S Tは主に脳外科からの依頼で、失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害の方に対する評価および訓練を行っています。急性期から回復期、退院後の外来リハビリまで、一貫して関わることでできる環境にあり、隣接する系列のデイケアや訪問リハビリにも携わっています。

リハビリテーション科は、P T 18名、O T 10名、S T 3名が在籍し、一般病棟（おもに急性期と外来）担当と回復期病棟担当に分かれています。急性期は、1～2週間で回復期に転棟となることも多く、業務は主に評価が中心となりますが、発症直後の不安を和らげることも視点において患者様やご家族に接しています。回復期病棟は、今年度から365日リハビリが開始となりあわただしい毎日ですが、在宅復帰へ向けて医師・P T・O T・看護師・M S W等、他職種とも連携しながらリハビリを進めています。S Tとしては、退院後の生活を視野に入れた長期的な視点をもって訓練を進めていけるよう心がけています。

3年前に発足した「流山失語症友の会」には当初から参加しています。在宅復帰後の患者様方との交流は、退院後の生活をイメージできるという点においても有意義です。友の会活動にご興味のある方は、ぜひ一緒に活動していただけたらと思います。

習志野市ひまわり発達相談センター・・・・・・・・・・・・・S T 内村 幸輔

習志野市では、昭和55年に設置された「幼児言語療法施設ひまわり学園」で就学前児童のことばと発達に関する相談・指導を今年3月まで行っていました。平成24年4月に移転し、新たに市の発達支援の中核拠点となる機能を加え、「ひまわり発達相談センター」を開設しました。

本センターでは、旧ひまわり学園で実施していた就学前児童の相談・指導業務（個別指導・グループ指導）の他に、対象年齢を拡大して18歳未満の児童とその保護者の方の相談を行っています。対象となる児童の所属・利用機関も多岐にわたるため、ソーシャルワークの理念に基づき、支援に携わる関係機関との連携、調整を図っています。当市では、子どもとその保護者のニーズを具現化する手立てとして、保護者の希望に応じて、乳幼児個別支援計画の作成を行っています。ライフサイクルに応じた継続的な支援のためには、関係機関等との連携は重要であり、この計画を活用しています。また、保育所や幼稚園等に出向き、子どもたちの生活の場で支援する「巡回相談」や小児科及び児童精神科の専門医による定期的な相談も実施しています。職員構成は、心理・保育士・保健師・看護師・P T・O T・S T・社会福祉士等、20数名です。S Tは、上記業務以外に3歳児健診でのことばの相談に出向いています。他職種と協力しながら、S Tの専門性を活かし、子どもの育ちと保護者の子育てを応援していきたいと思っています。

臨床こぼれ話

わかるように話しかけてる？

首都医校 言語聴覚学科

小林 久子

「あれ？わたしは、この失語症の人がわかるような話しかけ方をしてきたのかな？」とハタと気づいたのは、ST として仕事を始めてから 10 年近くたった時だったと思います。小児の領域での仕事も多かったのですが、お母さんに説明する時と同じような調子で、成人の失語症の人にも話しかけていたような記憶があります。訓練中は聴覚的に適切な入力をするのを心がけ、明瞭にゆっくり話していました。しかし、意図した訓練以外のいわゆるフリートークの時間には、まったく通常の話すことばで話していました。相手の失語症の人にも、にこやかに「うんうん」と受けてくださるので、「通じている」と思いこんでいましたし、通じていないかもしれないという視点を持っていなかったのです。

ひとたび疑問をもつと、SLTA の短文の理解の課題で 6 割程度の正答にとどまっている人が、私の通常の長さや速度の話しかけ方でわかっているはずはないと不安になってきました。失語症の人は日常生活で言葉がわかるようになりたいはずだし、それを目指して治療をしてきたのではないかな？それなのに私の話しかけ方は、全く配慮がなかったのではないかな？ST は失語症の人の唯一の理解者だと、正義の味方のような気分だった私は自己嫌悪で落ち込んでしまいました。

それから「今、私なんて言いましたっけ？」とちょっとしつこくわかったかどうかを確認するようにしました。しかし、なんだか頼りない返事しか戻ってきません。そこでさらにキーワードを紙に書くようにしました。すると失語症の人の表情が明るくなり、そのメモを持って帰ろうとされるのです。日常会話というのは複雑なもので、背景にある共通知識や文脈やちょっとした身振りなどで了解できることも多々あります。話しかけたことばが多少長くても、適切なところで区切ったり、身振りを入れたり、くり返したりすることでコミュニケーションを補うことができます。キーワードや矢印、簡単な略画で書かれたメモもコミュニケーションの確認や記憶の支えとなることを学びました。

毎日の社会生活の大半がコミュニケーションによって成り立っていることを考えると ST がどんなに増えても、またどんなに長いおつきあいをしても、ST だけで彼らの社会生活を支え続けることは困難だということにも気づき、正義の味方気分は完全に崩壊しました。失語症は目に見えにくい障害なので、一般社会では誤解や偏見に曝されています。私は自分がやっと気づいたことを、もっと早く ST や一般の人にもわかってもらえないだろうかと思い立ちました。PT などの他職種も、専門職がもっている知識や技術を一般の人にどのように普及し啓発するかという取り組みをしています。そこで、失語症のことを理解して、失語症の人がわかるように話しかけ、失語症の人の話をじっくりと待って上手に引き出すことのできる知識や技術を持つ人を「失語症会話パートナー」という名称で育成することにしました。まずは ST 自身が失語症の人の会話パートナーとなって、できるだけ正確な情報の伝達と感情の交流ができることを目指しています。もちろん ST だけでなく、PT も OT も介護職も、医師もおまわりさんも隣の家の人も、少しでも失語症の人のことを知って、わかるように話しかけてくれる日が来るのを夢見ています。

三三三 きこえに関するひとくちコラム 三三三

・・・聴覚障害委員会・・・

補聴器の機能も日進月歩しています。最近の補聴器の機能を一部ご紹介します。

最近の補聴器機能について

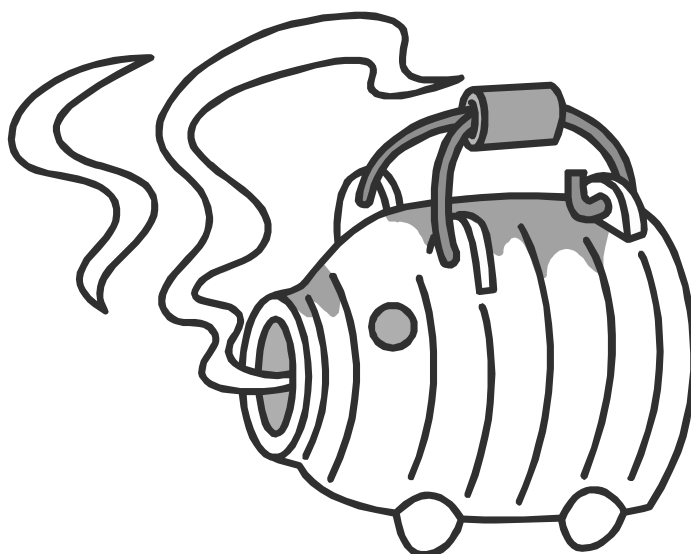
プログラムの自動切り替え 補聴器がその時の環境を判断し、騒音抑制や指向性などのプログラムを自動的に切り替えます。

データロギング どのような環境でどのくらいの時間使用したかなど、補聴器にデータが保存され、補聴器の使用状況・環境を把握することができます。

周波数圧縮 高音域の周波数を圧縮し、本人の聞こえる聴力の範囲に収め、聞き取れなかった高音域の音を聞き取れるようにします。

リモコン 補聴器の電池残量やボリュームを読み取ったり、補聴器を外さず手で操作したりすることができます。

以上のように様々な機能を持つ補聴器が出てきています。しかし機能を多数持つほど良い補聴器というわけではありません。金額も高価になります。装用する方の職場環境、家庭環境、使用時間、経済状況、手指の機能などに応じて、必要な機能を持つ補聴器を選ぶことが重要です。



各委員会・作業部会から

リハビリテーション公開講座作業部会

第6回 リハビリテーション公開講座のお知らせ

(一社)千葉県理学療法士会、(一社)千葉県作業療法士会、(一社)千葉県言語聴覚士会、千葉県リハビリテーション学懇話会共催の『第6回リハビリテーション公開講座』を下記の日程で開催します。県民の皆様や、関係職種を対象に、リハビリテーションの周知や、新しい情報などを提供いたします。第6回の開催に向けて、各士会でアイデアを出し合い準備をしております。奮ってご参加下さい。

日程 平成25年1月27日(日)

場所 船橋市民文化創造会館きららホール

テーマ 『脳卒中になるとどうなるの?』(仮)

(神作暁美 松本真紀 今井梨香 鈴木三樹子)

生涯学習プログラム基礎講座・専門講座作業部会

今年度も一般社団法人 日本言語聴覚士協会、生涯学習プログラム基礎講座・専門講座の千葉県版を実施いたします。昨年度同様に、専門講座を2講座、基礎講座全ての6講座と独自の講座を合わせて9講座を2日間で実施いたします。

専門講座は中川の郷療育センター(元北里大学医療衛生学部)の石田 宏代先生による「発達障害児への支援 - 障害特性を踏まえたアプローチ - 」と長尾病院 高次脳機能センターの田川 皓一先生による「神経心理学の画像診断 - 失語症を中心に - 」を午前と午後に分けて実施いたします。認定言語聴覚士の受講資格には生涯学習プログラムの修了証が必要です。この機会に是非ご参加ください。

日時 : 平成24年11月18日(日) ・ 11月25日(日)

会場 : 千葉市民会館

詳しくは同封の案内状をご覧ください。多くの皆様の参加をお待ちしています。

(斉藤公人)



事務局から

年会費納入について

財務部より



当会は、平成24年5月20日より一般社団法人となり、現在、法人口座の開設に向けて準備を進めております。ただし、今年度中はこれまでと同様にゆうちょ銀行の振替口座を利用し、納入方法の変更も行いません。

年会費の金額及び納入方法につきましては、下記の通りです。

正会員 3500円 準会員（旧会友）3000円
賛助会員は、1口5000円（個人1口以上、団体2口以上をお願いします）

お支払い方法

*加入者名、受取人名の欄は「一般社団法人 千葉県言語聴覚士会」または「千葉県言語聴覚士会」のいずれでも構いません。

1) ゆうちょ銀行および他の金融機関からのお振込み

ゆうちょ銀行からのお振込の場合

払込取扱票に氏名、住所、金額をご記入の上で下記宛にお振込ください

（記号番号）00120-6-39932

（加入者名）千葉県言語聴覚士会

ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込の場合

（銀行名）ゆうちょ銀行 （金融機関コード）9900 （店番）019

（店名）〇一九（ゼロイチキュー店）

（預金種目）当座 （口座番号）0039932

（受取人名）チバケンゲンゴチョウカクシカイ

2) 研修会にて現金でのお支払

研修会場受付の財務部員にお支払いください。

年会費に関するお問合せ先

新八千代病院リハビリテーション科

石橋尚基

047-488-3251（代）

E-メール syh.riha@dream.com

*前号にて誤ったアドレスを記載しておりました。謹んでお詫び申し上げます。

1. 入会のお誘い

当会に入会されていない方は、ぜひご入会くださるようお願い申し上げます。入会ご希望の方は、ホームページにても入会方法をご案内申し上げておりますのでご覧ください。また、お近くに未入会の言語聴覚士の方がいらしたら、入会をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

2. 住所・勤務先変更届けについてのお願い

住所や勤務先など、入会時にされた登録内容に変更があるときは、お手数ですがなるべく速やかに、事務局まで郵便またはFAXにてご報告くださいますようお願いいたします。変更届は会のホームページよりダウンロードすることもできます。会よりの郵便物がお手元に届くのが遅れるなど不都合がございますので、ご協力をお願いいたします。

3. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等のご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

4. 新入会員のお知らせ（敬称略）

会員数：正会員 349 名・準会員 17 名・賛助会員：6 団体

（平成24年6月24日 理事会承認分まで）

・・・正会員・・・

新垣 夏恋(八千代リハビリテーション病院)	家永 早希(新八千代病院)
井上 澄香(千葉リハビリテーションセンター)	大滝 理恵(のぞみ牧場学園)
牛山 詩織(らいおんハート言葉のデイスサービス)	川口 真男(袖ヶ浦さつき台病院)
倉田 大地(新八千代病院)	小杉 香織(山之内病院)
後藤 多可志(目白大学保健医療学部)	嶋田 真砂美(千葉愛友会記念病院)
下方 香(千葉西総合病院)	鈴木 瑞恵(船橋市立リハビリテーション病院)
武田 由香(船橋市立リハビリテーション病院)	蝶野 幸恵(介護老人保健施設ハートケア市川)
原田 恵里(千葉・柏リハビリテーション病院)	早坂 さち(順天堂大学医学部附属浦安病院)
平山 勇希(新八千代病院)	本間 美保子(浦安市教育委員会教育研究センター)
松村 香奈子(柏市役所こども部こども発達センター)	山内 温子(船橋市立リハビリテーション病院)

理事会・委員会等報告

平成24年度 理事会

第1回

日時：2012年6月24日(日) 13時02分～16時44分 場所：黒砂公民館 工芸室

出席者：吉田、石橋、木下、木村、相楽、鈴木、古川、宮下(以上理事8名)、竹中(監事)、大澤(書記)、宮阪(書記見学)

1. 協議事項：(1)事務局より・理事会、局等の議事録承認について・新入会員・退会者について・No39ニュースについて・千葉県作業療法士会(以下、OT県士会)からの認知症に関する依頼について・千葉県立保健医療大学からの依頼について・関連機関(県医師会等)への挨拶について・第2回研修会の案内状の確認、承認について・メーリングリストの承認について・講師料等の源泉徴収について・振替口座の変更について・チーバくんの使用許可、及び名刺の作成について・生涯学習プログラムについて・理事会の招集と議長について・理事会欠席の際の委任状について

2. 報告事項：・回覧郵便物一覧・一般社団法人化案内状送付先一覧・新着情報担当との打ち合わせについて・千葉県回復期リハビリテーション連携の会全県大会について

平成24年度 学術局

第1回

日時：2012年5月20日(日) 17時30分～18時10分 場所：東京女子医大八千代医療センター 大会議室

出席者：木下、木村、荒木、家永、神作、酒井、佐藤(以上7名)

・平成24年度第1回研修会について・第2回研修会について・今後の予定

平成24年度 社会局

千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会

第2回

日時：2012年5月8日(火) 19時00分～21時00分 場所：船橋市訪問看護ステーション

出席者：渡辺・佐々木・吉田・勝又・池澤・菊池・鈴木・小野・井田・松川(以上10名)

・今年度の計画について・研修会の位置づけ、修了証の取り扱い、修了者の活用等について・今後の予定

第3回

日時：2012年6月11日(月) 19時00分～21時00分 場所：船橋市訪問看護ステーション会議室

出席者：渡辺・佐々木・勝又・池澤・菊池・鈴木・小野・井田・松川(以上8名)

・プログラムの内容の検討・修了者のHP掲載について・今後のスケジュール・役割分担

平成24年度 小児言語障害委員会

第1回

日時：2012年6月3日(日) 10時00分～11時30分 場所：ジョナサン千葉駅前店

出席者：藤田、金子、常光、木下(以上4名)

・今年度の活動計画の確認、研修会開催事項の検討・承認(会場、実施内容：発表者、ワーク資料などの検討)・今後の予定

平成24年度 摂食嚥下障害委員会

《第1回》

日時：2012年5月21日（月）19時30分～21時00分 場所：東京女子医科大学八千代医療センター

出席者：鈴木、長良、林、相楽

・第2回研修会について ・摂食嚥下評価 ・訓練施設一覧の情報追加について

平成24年度 介護保険委員会

第1回

日時：2012年5月27日（日）10時00分～11時45分 場所：サイゼリア 船橋イトーヨーカドー店

出席者：平澤、小野、松本、蝶野、坪木、勝又、木村（以上7名）

・今年度における報告と協議 ・委員 ・役割分担 ・連絡方法 ・旅費の精算 ・年間計画 ・第1回勉強会

平成24年度 リハビリテーション公開講座実行委員会

第1回

日時：2012年5月29日（火）19時00分～21時30分 場所：千葉県理学療法士会事務所

出席者：田中・塩月・栗田・坂田・石橋・鈴木・神作・松本・今井（以上9名）

・実行委員会設置要領について ・役割分担 ・テーマ（仮題）「脳卒中になるとどうなるの？」 ・広報 ・今後の予定

平成24年度 生涯学習プログラム基礎講座・専門講座作業部会

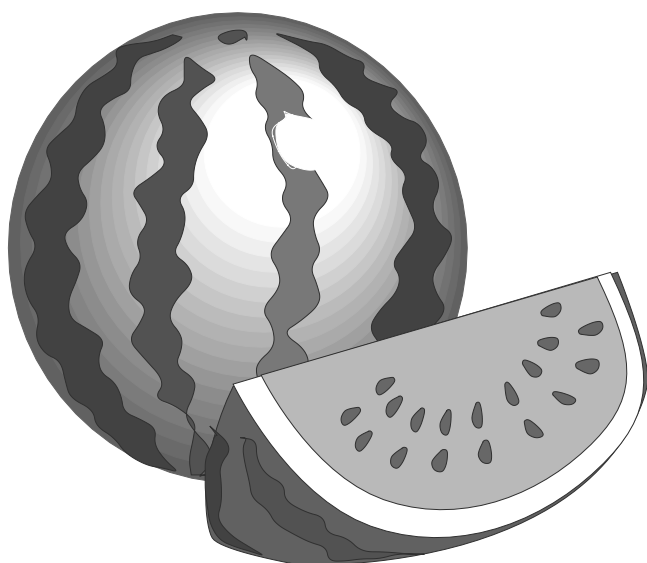
第1回

日時：2012年6月24日（日）10時00分～11時30分 場所：千葉市療育センター 会議室

出席者：斉藤（公） 西本、宇治、太良木、渡辺 以上委員6名 古川 以上 担当理事1名

・今年度案内 開催要項の検討 ・「ネットワークづくり」の開催について ・申し込みの受け付けについて ・役割分担について ・メーリングリストについて

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）



多機能言語訓練装置

ActVoice®

アクトボイス

ActCard®対応 ActV001 税込39,900円

失語症等言語障害者への言語訓練を目的とした
多機能言語訓練装置 **ActVoice** です。

言語聴覚士による絵カードを使用した言語訓練を補助したり、
失語症者自身による自宅での言語訓練を補助します。

- (独法)新エネルギー・産業技術総合開発機構：21年度福祉用具実用化開発助成事業
 - 千葉県：ちば・戦略的デザイン活用塾21年度コンサルティング・プログラム事業
 - 経済産業省：22年度中小企業等の研究開発力向上及び実用化推進のための支援事業
- 開発協力 村西幸代 古川大輔 国保直管総合病院 君津中央病院 言語聴覚士
黒岩真吾 千葉大学 大学院 融合科学研究科 情報科学専攻 教授
協力 特定非営利活動法人 全国失語症友の会連合会

所定の位置に絵カードを
置くことにより、直後や
一定時間後に各種ヒント
や答えを自動発声

ヒントボタンを押すと
各種ヒントを発声

答えボタンを押すと
答えを発声



録音ボタンを押すと
音声を録音

再生ボタンを押すと
直前に録音された
音声を再生

ボタンカバー
評価・操作リモコンつき

カードをセットすると、裏面のバーコードを読み取り、各種ヒントや答えの音声が発声されます。発声を簡単な操作で録音・再生が可能です。日時や操作履歴・録音などの記録をSDカードに保存でき、パソコンでのデータ処理が可能です。本機を使用した長期的な訓練経過などについて、評価・研究が可能となります。家族の写真を貼り付けたイラストを描いたりして、別売のブランクカードを使用して、簡単な操作でカードを自作できます。訓練意欲向上のため「青い山脈」や「ふるさと」等、懐メロや唱歌カードも発売予定です。これまでに発売してきた「絵カード2001」も本器で使用可能です。

※一部は別売のバーコードシールを貼り付ける必要があります。

今後予告なく変更になることがあります。
貸出用のデモ機を用意しています。(発売後貸出可)



言語訓練用絵カード

ActCard®

アクトカード

第1巻 名詞絵カード 300枚組 税込18,900円

第2巻 名詞絵カード 300枚組 税込18,900円

成人の言語訓練を想定した写実的なカラーイラストが主体です。

第1巻は名詞の絵カード300種類で、高齢者が日常生活でよく使用する語彙の訓練も可能です。

カードサイズは手になじみやすい情報カードサイズ(75mm×125mm)です。

今後、観光地の絵カードや文字カードも順次発行されます。

ActVoice®対応



株式会社 エスコアール

〒292-0825 千葉県木更津市畑沢2-36-3 TEL 0438-30-3090 FAX 0438-30-3091
エスコアールホームページ <http://escor.co.jp>



入 リオネット補聴器

補聴器のご相談は安心できる

認定補聴器専門店で!!

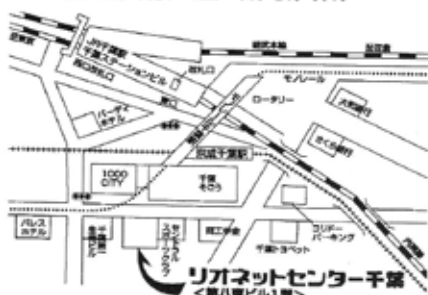
認定補聴器専門店は「認定補聴器技能者」が在籍し、補聴器をお客様の耳に合わせるための設備機器が整い「補聴器の適正供給」の運用がされ「公益財団法人テクノエイド協会」が認定したお店です。つまり経験豊かで専門的な知識と技能を持ったスタッフが、様々な機器を使い、一人ひとりのお客様の聞こえの状態に合った最適な補聴器をご提供します。



認定補聴器専門店

リオネットセンター 千葉

千葉店：千葉市中央区新町 18-12
TEL：043-246-3321 FAX：043-246-3319



成田店:成田市公津の杜 1-13-17
TEL:0476-20-6633 FAX:0476-20-6634



Hello

在宅
通信販売

かむことや飲み込むことが、困難な方や
たんばく質などを制限されている方へ
ご一報ください。

(株)富士食品 千葉県君津市坂田272

TEL: 0439 - 52 - 2421

FAX: 0439 - 53 - 0758

マウスピュア® シリーズ 口の機能を取り戻すために

唾液分泌
促進

清掃

保湿

口腔
マッサージ

マウスピュア®

有効成分（グリチルリチン酸二カリウム）配合
保湿成分（ヒアルロン酸Na）（α-グリセリン）配合

医薬部外品
薬用歯磨き
歯磨剤

40g 希望小売価格 1,470円



マウスピュア® シリーズ口腔ケア製品ラインナップ



吸引+歯みがき / 吸引+口腔清掃
「吸引歯ブラシ」「吸引スポンジ」



口腔清掃
「口腔ケアスポンジ」



アロママッサージ
「口腔ケア綿棒」



舌リハビリ
「口腔ケアガーゼ」



舌清掃
「フレッシュメイト K」

※ 製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

川本産業株式会社

本社 / 大阪市中央区糸屋町2丁目4番1号

●お客様相談窓口 06-6943-8956 (10:00~17:00 月~金 ただし祝祭日を除く)

●商品に関するお問い合わせ・試供品のご要望は

マーケティング本部 06-6943-8941

<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>

一般社団法人設立 おめでとうございます

株式会社 三和化学研究所

水に混ぜるだけ! ゼリーが手軽に作れるインスタントゼリーの素

水分補給に Quick Jelly

クイックゼリー



「ひとくちめ」から
幅広く
サポートします。



製品1袋に水100mL混ぜるだけで、水分補給ゼリーが作れます。
水分だけでなく、電解質と食物繊維2.3gも補給できます。

包装単位: 10g×36

ビタミン補給に Quick Jelly Vit

クイックゼリー-Vit



製品1袋に水50mL混ぜるだけで、
ビタミン13種&亜鉛・銅補給ゼリーが作れます。

包装単位: 5g×36

カプサイシン入りフィルム状食品

カプサイシンプラス®

カプサイシンの力で食事を楽しく!

カプサイシンは、
トウガラシ(唐辛子)
の成分です。



2枚で1.5μg
(0.75μg/枚)の
カプサイシンが
摂取できます。



U字の切れ込みが
入っています。

マンゴー味

包装: 24枚×10
賞味期限: 18ヵ月

舌の上で
すばやく
溶けます。



販売者
株式会社 三和化学研究所

本社/名古屋市東区東外福町35番地 〒461-8531
TEL (052) 951-8130 FAX (052) 950-1861
●ホームページ <http://www.skk-net.com/>

..... 求人情報

詳細は千葉県言語聴覚士会ホームページ（<http://chibakenshikai.moo.jp/>）をご覧ください。

【表の見方】 募集内容（記載がなければ言語聴覚士の募集）、業務内容、住所、連絡先

千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部	
	常勤または非常勤 1名
	成人・小児（失語症を含む高次脳機能障害、 構音障害、嚥下障害、学習障害など）
	千葉市中央区亥鼻 1-8-1
	電話：043-226-2338 担当：佐藤（秘書）

編集部員のつぶやき

5月20日の総会において、一般社団法人千葉県言語聴覚士会となることが承認され、「大人の会」として、新たな一步を歩み始めました（記念すべき総会に、340名の会員の中、27名の当日参加者とは、ちょっと寂しい総会でしたが・・・）。会長からの挨拶にもありましたように、これからは、他の職能団体と肩を並べて、制度や体制に対し、意見交換が出来るようになります。そのためには、私たち会員、一人、一人の認識が大切になります。ぜひとも、言語聴覚士の社会的地位の確立や、地域社会における保健・医療・福祉・教育の発展と充実に寄与できるよう、みんなで力を合わせて参りましょう。

発行所：一般社団法人 千葉県言語聴覚士会

発行人：吉田浩滋

編集人：編集部 古川大輔

事務局：〒263-0023 千葉市稲毛区緑町2-1-9 103号室

FAX 043-243-2524

E-mail chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ：<http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード：affordance

印刷：社会福祉法人 大成会 成田市のぞみの園